

正願寺通信

●春季永代経彼岸会のご案内
●正願寺再建記念の集いのご案内

この『正願寺通信』は、ご縁のあるごなたにもお配りします。ご希望の方はご連絡ください。



発行者:真宗大谷派 正願寺 住職 三保谷 順
〒442-0862 豊川市市田町北之坪1-1
Tel 0533-86-3659 FAX 86-3668
Mail mipomail@cream.plala.or.jp

疑謗為縁

疑謗を縁と為す

人間は、
長生きしたがるが、
年は取りたがらない。

今回の言葉は、どこかで見つけて、ストックしていたものです。私たちの本性を言い当てています。まさに「自分の都合」が現れています。たくさん年を取れることが、長生きしたことなのです。私たちの「自分の都合」があらさまに見えています。

ところが実際には、「自分の都合」は巧みにその姿を隠しています。だいたい以前ですが、NHKで番組の間の時間

を使って、「私の大事なものは……」と言いながら一般人が登場して、それぞれに「家族です」とか、「健康です」などとテレビから語りかけてくるのです。ほのぼのとした雰囲気短い時間でした。かなりたくさんの方が登場したように思います。

ところがこの宗派のある研修会で、参加者の一人からその番組を話題にしながら、「結局、それは自分の都合を大事にしているのですよね」という発言がありました。家族と言いつつ、保険金の対象となる時もあるでしょう。自分の都合によってどうにも変わります。健康と言いつつ、自分の都合のいい健康

を考えています。この参加者の発言は、ほのぼのとしたものとしか思っていなかった私には、目から鱗(うろこ)でした。

日々の暮らしでは、あからさまには見えてこない、「自分の都合」があらちこちに潜んでいます。一皮むけば、「自分の都合」だらです。その「自分の都合」は、他の人

だけでなく、自らをも傷つけることとなっています。それを仏教では「自損損他」と教えます。例えば他人の悪口を言つて他人を貶め(おとし)ます。「自分の都合」の最も現れているところかもしれません。一見自分はそれで満足しているようですが、しかし、その汚い言葉を一番最初にそして一番多く聞いているのは自分の耳なのです。そのように自分自身を傷つけています。

「自損損他」の反対の言葉もあります。それが「自利利他」です。次回は、そのことについてお話しします。



真宗入門

御命日のつどいのご案内

3月のテーマ

超人門

「どうする私の終活」

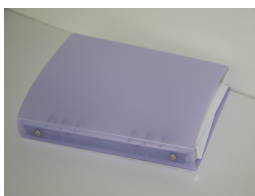
前回は「どうする私のお葬式」というテーマでお話しさせていただきました。最近のお葬式事情から、具体的な例を紹介いたしました。色々なケースがある中、それぞれに考えていただきました。又お寺からの提案もさせていただきました。

しかし「御命日のつどい」にいられている方たちの多くは、お葬式をしてもらう側の人たちです。自分のお葬式の希望があつたとしても、それをご家族に伝えなければなりません。内容の希望だけでなく、なぜそのようにしたいのかも同時に伝えることができるとかがポイントです。ご家族が、「どうしてそうしたいの?」と聞かれた時、そこがチャンスです。ご自身の言葉で「残りの人生をこう生きたい、そ

してこう締めくくりたい」と語れるかどうかです。それは、「あのおばあちゃんね、こういう風に生きた人だったんだよ」と、孫やひ孫に子供さんが語れるような晩年になります。それこそ本当の遺産です。しなくてはならない終活なのではないでしょうか。普通に言われている終活はやれたらやつたほうがいいことぐらいに思えてきます。

御命日のつどいは、どなたでも気軽に御参りできる「つどい」です。お数珠と『浄土真宗学習ノート(仮称)』・勤行本だけお持ちいただければ大丈夫。本堂に入る時はアルコールで手を消毒し、マスクの着用もお願いします。日時は28日午前10時30分から11時40分までです。

なお、『浄土真宗学習ノート(仮称)』をお持ちでない方には、プレゼントいたします。ぜひこの機会にお参りください。



行事のご案内



3月の行事

本堂仏具のおみがき

春季永代経彼岸会法要のため
の本堂御仏具のおみがきを
します。是非お手伝いくださ
い。

始まり時間は目安です。ど
うぞお気軽にご参加ください。

日時 3月16日(土)

午前9時から

1時間ほど

その後、お茶とお菓子の雑
談会があります。色々な方と
お話ができます。

春季永代経彼岸会法要

永代経法要と春季彼岸会法
要を、あわせてお勤めします。

永代経法要とは、正式には
「永代経祠堂法事」と正願寺
では言います。「永代経祠堂
志(永代供養志)」を正願寺
へお納めいただきますと、そ
の亡くなられた方のご法名を

この御法要の時に本堂にお掛
けします。そのようにして勤
まる法要が、「永代経祠堂法
事」です。

ご法名を本堂にお掛けし
(祠堂)、永代にわたってお
釈迦様の説法(御経)にお会
いするという御法要です。亡
くなられた方と共に、私たち
もお釈迦様の説法に出遭わさ
せていただきます。

また春秋のこの時は、阿弥
陀仏のおられる西方浄土のあ
る真西に太陽が沈むことから、
そのお浄土を心に想い浮かべ
ながら勤める法要が彼岸会法
要の始まりです。

3月22日(金)

午後1時 受付

午後1時30分 法要

法話 自坊住職

3月23日(土)

午後11時30分 受付

正午～1時 御斎(お食事)

午後1時 法要

法話 戸松憲仁師

法要は次の日程で勤めます。
1日目は、午後1時30分から
の法要です。正願寺住職の法
話がございます。

2日目は、正午より御斎が
ございます。御斎とは、御法
要に合わせてのお食事の事で、
基本は精進料理です。御斎は
午後1時で終了いたします。



昨年の御斎の様子

引き続き御法要です。岡崎市
福万寺御住職の戸松憲仁師の
ご法話がございます。

両日とも会館に受付を設け
ます。「お志」をお納めくだ
さい。墓地管理費加金も収め
ることが出来ます。

なお、永代経祠堂志(永代
供養志)が上がっている方へ
は別途、案内をお出しします。

5月の行事

正願寺再建記念の集い

正願寺再建記念の集いを開
催します。期日は5月11日
(土)です。詳細はこれから
ですが、今までのように12時
からのおうどんの御斎をお出
しする予定です。

多くの人が楽し
みながら、お寺と
浄土真宗に触れて
もらえるような行事になれば
と考えています。初めてお寺
に来られる方にも、参加しや
すい行事にしたいので、コン
サートと法話会の内容で考え
ています。



その他、「産直広場」・
「おゆずり会(無料の不用品
譲渡の会)」
などを考え
ています。
くわしく
は、来月の
『正願寺通信』にてお知らせ
いたします。どうぞご期待く
ださい。



あとがき

年末年始には、いろいろな方がお寺に
ご挨拶に来られました。久しぶりにお
会える方も多いのですが、その中に
今年も、私はカンになっておりまし
てと挨拶される方が数人おられまし
た。正月の挨拶らしくないのかもしれ
ませんが、お寺だから言える挨拶なの
かもしれません。体を動かして筋力
の維持をとお伝えし、「一日一日を
大切に」と挨拶します。その方たちは
今どうされているのか
なあと、ふ思います。



暖かな晴れ間に、小鳥の餌にと傷
んだミカンを木々の小枝に引っ掛
けてみました。去年は、鶯が来れ
ば良いな。」と想いながら引っ掛
けましたが、メジロが。それでも
ついでに姿が可愛くて、鶯はひっ
そりと花の蜜をついばみに来まし
た。今年はどうな鳥が来るかな。
と思いつき仕事をしていると、
その後、土砂降りの雨で小鳥は来
ず、百舌鳥のような大きな鳥が食
べて行きました。暖かな日から翻っ
てまた冷たい北風が。それで毛球
根から芽や花が。小
さな楽しみで充分。

